

製品安全データシート

製造者情報

会 社 竹林化学工業株式会社
住 所 大阪府東大阪市渋川町3丁目1番43号
担当部門 品質管理部 担当者 大江吉郎
電話番号 (06) 6721-6165 (代)
FAX 番号 (06) 6720-7308

整理番号

作成 2007年8月27日

改訂 2008年4月24日

製 品 名 タケシール AQ 防水 Type S

物質の特性

単一製品・混合物の区別：混合物

化学名：

成分及び含有量主成分：アクリル-アクリル酸エステル共重合体 30~40%，酸化チタン 0~5%，ネオペンチルグリコール 1~5%，
炭酸カルシウム及び体質顔料 20~30%，添加剤等 1~5%

国連分類：国連の基準で評価して、危険物に該当しない

危険有害性の分類

分類の名称：分類基準に該当しない

危険性：通常取り扱いでは危険性は低い

有害性：皮膚や粘膜に長時間または繰り返し接触した場合、軽微な刺激性と炎症を起こす恐れがある。

環境影響：河川等に流出した場合、魚類が死亡する恐れがある

応急措置

目に入った場合：直ちに、清浄な適温の緩やかな水で最低15分間洗い流す。
速やかに、専門医の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合：大量の水で洗い流す。洗い流してから水と石鹸で皮膚を洗浄する。
痛みや異常が見られる場合は、速やかに医師の手当てを受ける。

吸入した場合：被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移す。多量の水でうがいをさせる。
直ちに専門医の手当てを受ける。

飲み込んだ場合：水で口の中を洗浄する。直ちに専門医の手当てを受ける。

火災時の措置

消火方法：このもの自体に可燃性はないが、水分蒸発後の乾燥物は可燃性である。燃焼の際は火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。延焼の恐れのないように水スプレーで周辺を冷却する。消火作業は風上から行い、場合によっては呼吸保護具を着用する。

消火剤：水、強化液、泡消火剤、粉末消火剤

漏出時の措置

流路を毛布、土壌等を用いてせき止め、多量流出の場合はバキューム等で汲み上げ、少量流出の場合はおが屑、土砂、パーライト等を混ぜモルタル状として凝固回収する。作業の際には長靴、手袋、保護眼鏡などの保護具を着用する。河川、湖沼へ流入した場合は地方自治体の公害担当者に直ちに連絡をとる。

取扱い及び保管上の注意

取扱い：取扱いは換気のよい場所で行う。目、皮膚への接触を防止するため、状況に応じ保護眼鏡、保護手袋を着用する。スプレーミストや蒸気の発生する作業の場合は局所排気装置を設置するか、またはフィルター付きの保護マスクを着用する。

保管：凍結、直射日光を避け、屋内で保管すること。保管時の温度は5℃以下あるいは40℃以上とならないようにする。皮張り防止のため、使用後は密封して貯蔵する。

暴露防止措置

管理濃度：設定されていない

許容濃度：〃

設備対策：局所排気装置等

保護具 呼吸用保護具：防塵マスク、防毒マスク

保護眼鏡：普通眼鏡等、ゴーグル型

保護手袋：ビニール製、ゴム製、ポリエチレン製等

保護衣：長袖作業衣等

物理／化学的性質

外観等：液体

比重：

沸点：約100℃

融点：-

溶解度：水で無限大に希釈可能

危険性情報

引火点：なし

可燃性：なし（水が蒸発した後の残分は可燃性）

発火点（自然発火性、水との反応性）：なし

酸化性：なし

自己反応性・爆発性：なし

安定性・反応性：通常の条件では安定

有害性情報（人についての症例、疫学的情報を含む）

皮膚腐食性：皮膚に付着したままにしておくと、炎症を起こす恐れがある。

刺激性：事例はないが、眼粘膜を刺激する。
蒸気を吸入すると、頭痛等を起こす恐れがある。

急性毒性：知見なし

がん毒性：知見なし

変異原性（微生物、染色体異常）：知見なし

生殖毒性：知見なし

催奇毒性：知見なし

その他：知見なし

環境影響情報

魚毒性：河川等に流出した場合、エマルジョン中の樹脂のエラへの粘着による呼吸困難のため魚類が死亡する可能性がある。

分解性：知見なし

蓄積性：知見なし

廃棄上の注意

廃棄は焼却により行う。これを含む排水は凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。
その他、水質汚濁防止法、廃棄物処理法の定めるところに従う

運送上の注意

運搬に際しては容器の漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

温度を5～35℃に保温して輸送する。

適用法令

PRTR 法, 安衛法通知対象物質: 規定量以上含有しない

その他 危険、有害性の評価は必ずしも十分でないので、取扱いには十分注意して下さい。

本資料は、信頼し得ると考えられる資料並びに測定等に基づき一般的な取扱いを前提に作成したものです。ご需要家各位は、これを参考として自らの責任において、個々取扱いなど実態に応じた措置を、お取り下さるようお願い致します。
